BOSE®

OWNER'S MANUAL

センター&サラウンドシステム

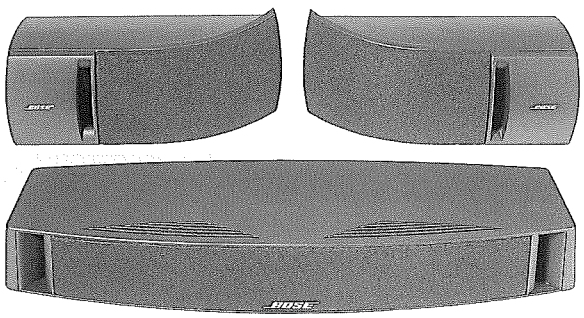
VCS-30Ⅱ

この度はVCS-30Ⅱをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管されるようおすすめいたします。

目　次

安全上の留意項目 ……2
特長 ……3
開梱時のご注意 ……4
内容物 ……4
保護回路について ……5
接続について ……6
AVアンプを使用するときの注意 ……7
設置について ……8
付属の天井・壁掛ブラケットの使い方 ……11
故障の場合のお問い合わせ先 ……13
仕様 ……14
保証 ……14
テンプレート ……15

VCS-30Ⅱ取扱説明書



※説明の便宜上、イラストは原型と異なることがあります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。
以下の内容に反した使用により損害が発生した場合、当社は責任を負いかねます。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

表示例

⚠ △記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠ ⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止を意味します）

● ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 警告

- ⃠ ●スピーカーケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルをくぎやステップルで固定したり、製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーケーブルを傷つけて火災の原因となります。
- ⚠ ●スピーカー内部に金属片や異物などを入れないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
- ● ●スピーカーケーブルを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。ケーブルの被覆が溶けて、火災の原因となります。
- ⃠ ●スピーカーケーブルを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
- ⃠ ●<本製品>を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。
- ● ●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

⚠ 注意

- ⃠ ●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。
- ● ●スピーカーを高いところに設置される場合には、足場が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
- ⃠ ●定格を超える信号を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- ⃠ ●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
- ⃠ ●取付金具をご使用になる場合は、ご使用になるスピーカーに対応しているボーズ社製の金具をご使用ください。他メーカーの金具や、対応外の金具を使用するとスピーカーの破損や落下のおそれがあります。
- ● ●窓を閉めきった自動車の中や直接日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

特　長

■システム構築にこだわったホームシアターを手軽に実現

センタースピーカー（VCS-10）とサラウンドスピーカー（161B）は、製品コンセプトをはじめ、デザイン、音質、性能、テクノロジーなど様々なカテゴリーを共有。パッケージとしての統一感に優れるだけでなく、あらゆるボーズスピーカーやお手持ちのステレオスピーカーとの組み合わせにより、手軽に5.1チャンネルのサラウンドシステムが構築可能です。

■豊かな音場を均一に提供するアーティキュレーテッド・アレイ設計

ドライバーの配置に独特の角度を持たせることで中高音の最適な放射パターンを実現するボーズ独自の設計技術により、リスニングルーム内のどこで聴いてもセリフが画面にバランスよく定位。広い指向性に基づいた、豊かで均一な音場を創造します。

■クリアで力強い低音再生を実現するセンタースピーカー（VCS-10）

4本の57mmドライバーを前後に2本ずつ配列し、前チャンバーを密閉することで後方のコンパウンドドライバーの振動を前方のドライバーに伝えて共振させるコンパウンド・ローディング・システムを採用。ドライバー背面の低域エネルギーを左右同一特性のフレア状ポートからスムースに放射するロングフレアポートとあわせて、効率の高いダイナミックな低音再生を実現します。

■設置場所を選ばない薄型・コンパクトサイズ

センタースピーカー（VCS-10）は、ほとんどのテレビに載るように設計されたスリムでコンパクトなキャビネット。一方、サラウンド用スピーカー（161B）は幅278mm、奥行き106mm、高さ127mmと大人の片手にも十分乗るほどの超小型エンクロージャー。同梱の専用ブラケットを使用することにより、上下15°ピッチ間隔で最大±45°まで仰角を上下7段階に調整できるほか、天井に設置する場合には水平を基準に−45°から−135°までの範囲で調整が可能。使用環境に応じたセッティングを選ぶことができます。

■リスニングエリア全体に均一な音場を創りだすステレオエブリウェア方式（161B）

クロスファイアリング構成のステレオエブリウェア方式を採用。最適化された特性の異なる2本のマイクロドライバーを水平45°の角度で配置するボーズ独自のアーティキュレーテッド・アレイ設計により、広いリスニングエリアを確保すると共に、エリア内のすべての場所に均一な音場を提供します。

■インテリア性・使い勝手ともに優れた専用の壁掛け用ブラケット（161B）

同梱の専用ブラケットにより、上下15°ピッチ間隔で最大±45°まで仰角を上下7段階に調整できるほか、天井に使用する場合には水平を基準に−45°から−135°までの範囲で調整が可能。極限まで小型化を追求しているため、室内のインテリアを邪魔することなく、好みに応じたセッティング方法を選ぶことができます。

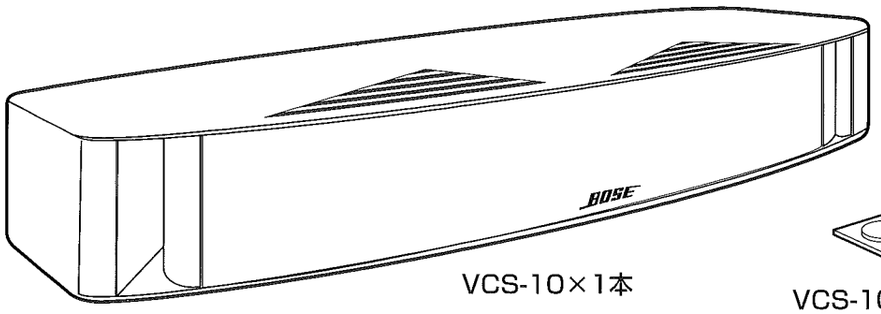
開梱時のご注意

もし開梱時に損傷などが発見された場合や、内容物が不足しているときはそのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。また、箱や梱包材は、後日の修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。

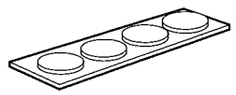
内容物

⚠注意

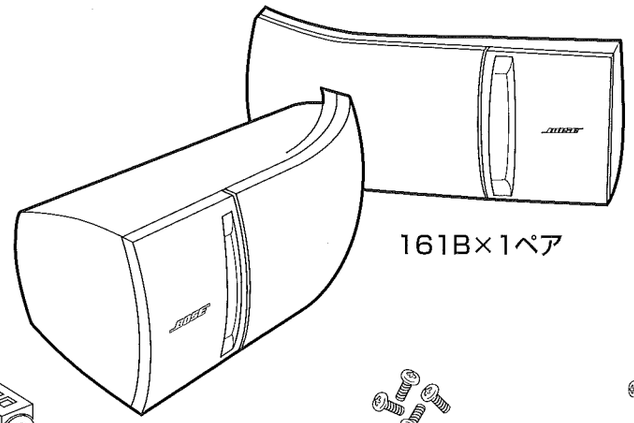
161B、VCS-10のグリルは取り外すことができません。無理やり外そうとするとスピーカーを破損させることになります。決して外さないでください。



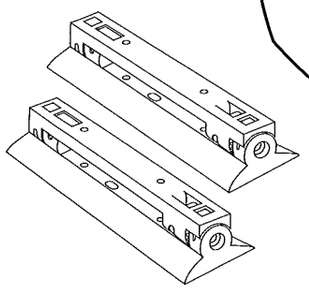
VCS-10×1本



VCS-10用ゴム足×4個



161B×1ペア



天井・壁掛けブラケット×2セット

※天井や壁などに取り付けるためのネジは付属されておりません。取り付ける面の材質(木・セメント等)を考慮して、スピーカーの重量に合ったネジを別途ご用意ください。

ネジ(短)×4本

ネジ(長)×2本

161B用ゴム足×6個

※スピーカーケーブルは付属されておりませんので別途ご用意ください。

保護回路について

このスピーカーには、過大な信号が入力されてスピーカーが破損するのを保護するためのプロテクターが内蔵されています。過大な入力があると中・低域の信号を自動的にカットします。そのため、過大な入力があると中・低音がスピーカーからは再生されず、高域のみの「シャリシャリ」した音になります。このような状態になったときは、過大入力となる原因を取り除くか、アンプのボリュームを下げて、スピーカーに過大な入力が入らないようにすることで、プロテクターは自動的に復帰します。

スピーカーの防磁について

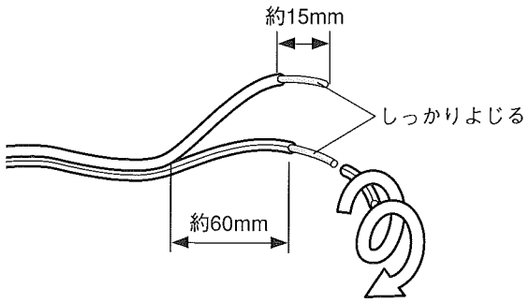
このスピーカーは、キャンセリングマグネット方式による低磁束漏洩になっています。通常のスピーカーは、テレビやモニターなどに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合がありますが、このスピーカーシステムはテレビやモニターなどへの近接設置の可能なスピーカーです。ただし、テレビやモニターなどへの設置のしかたによっては、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

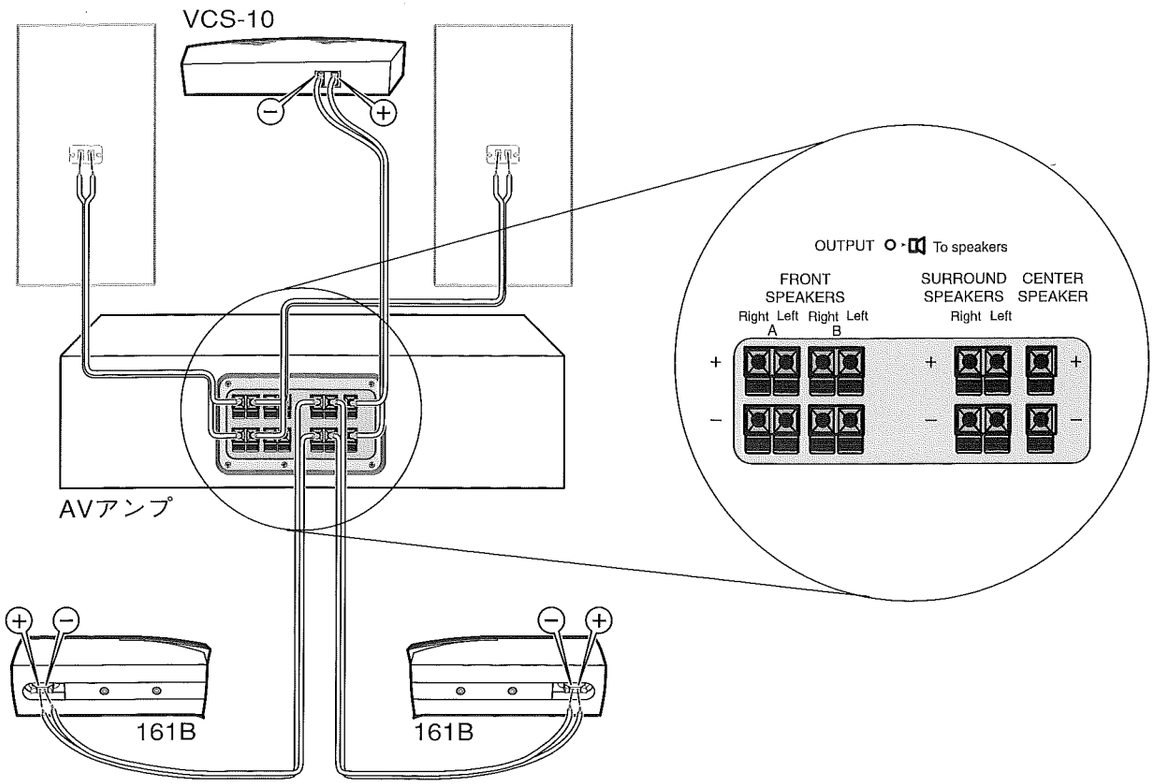
接続について

●スピーカーとアンプを接続するときは、必ずアンプの電源を切ってから行ってください。

●スピーカーの裏面にある入力端子とアンプからの出力端子をスピーカーケーブルで接続してください。

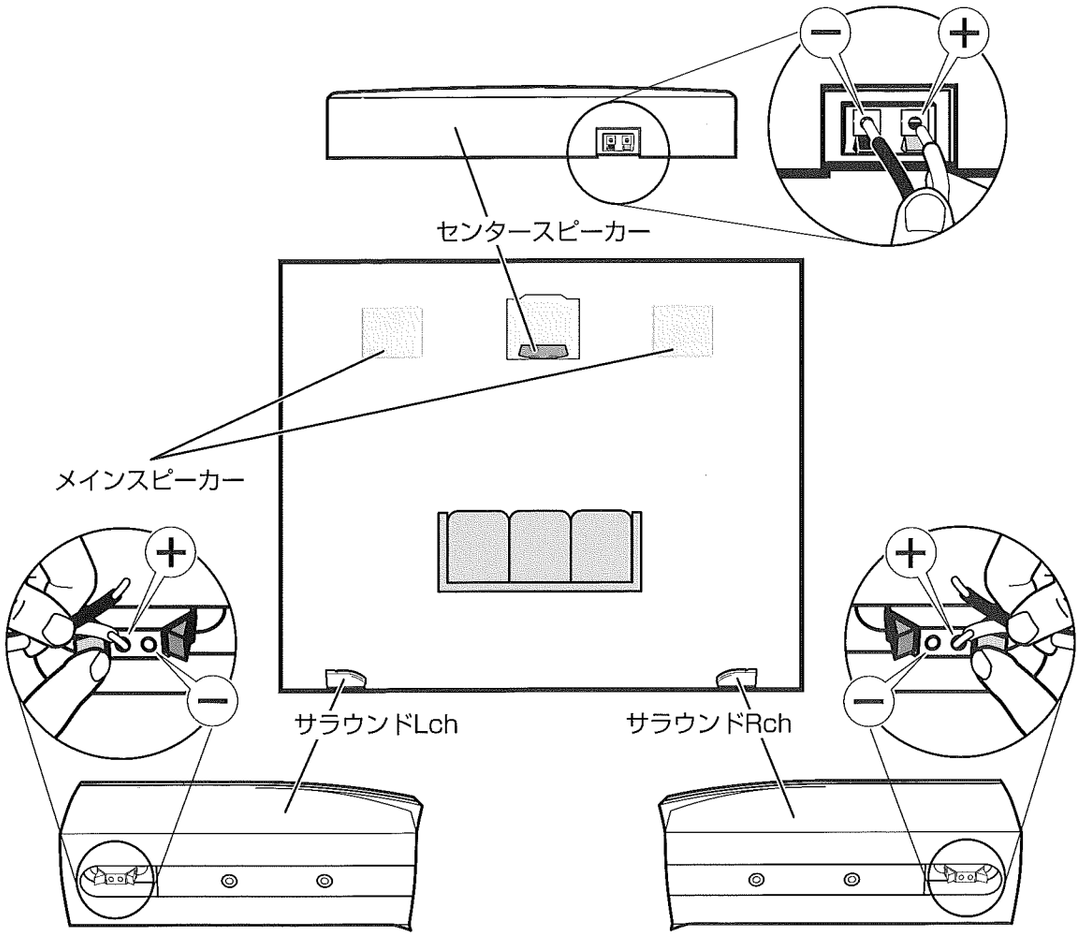
●スピーカーケーブルは、右の図のように先端の被覆をむいておきます。





スピーカーケーブルは、スピーカーの赤 ⊕ 側端子とアンプの ⊕ 側端子とを、スピーカーの黒 ⊖ 側端子とアンプの ⊖ 側端子とを接続してください。

※スピーカーケーブルの極性（⊕、⊖）を間違えますと、音の定位がフラついたり低音が出なくなったりします。



AVアンプを使用するときの注意

VCS-10の音質について

●VCS-10スピーカー・システムの音色はAVアンプのセンター・スピーカー用音質調整機能を利用してください。また、ドルビー・プロロジックの場合、センタースピーカーは、主にセリフの再生用になりますので、このスピーカーは音質の調整を必要としません。

AVアンプがドルビー・プロロジックの場合

●フロントのメインスピーカーとセンタースピーカーの音量バランスをとります。

AVアンプのサラウンド諸設定をしてください

●サラウンド再生を行う場合必ずAVアンプの設定をする必要があります。サラウンドモードにした後、設定作業を始めます。調整方法や調整内容は、ご使用になるAVアンプによって異なりますので、くわしくは、お手持ちのAVアンプの取扱説明書をご参照ください。

AVアンプがドルビー・デジタル（AC-3）の場合

●スピーカーサイズの調整を行います。VCS-10、161Bは、「Small（小）あるいは、Nomal（小）」に設定します。

※Doblyやドルビー、DD の記号はドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシング・コーポレーションの登録商標です。

設置について

スピーカーの再生音は、スピーカーを設置する場所やリスニングルームの状況などに大きく影響されます。より良い再生音が得られるよう次の点を考慮したうえ、設置してください。

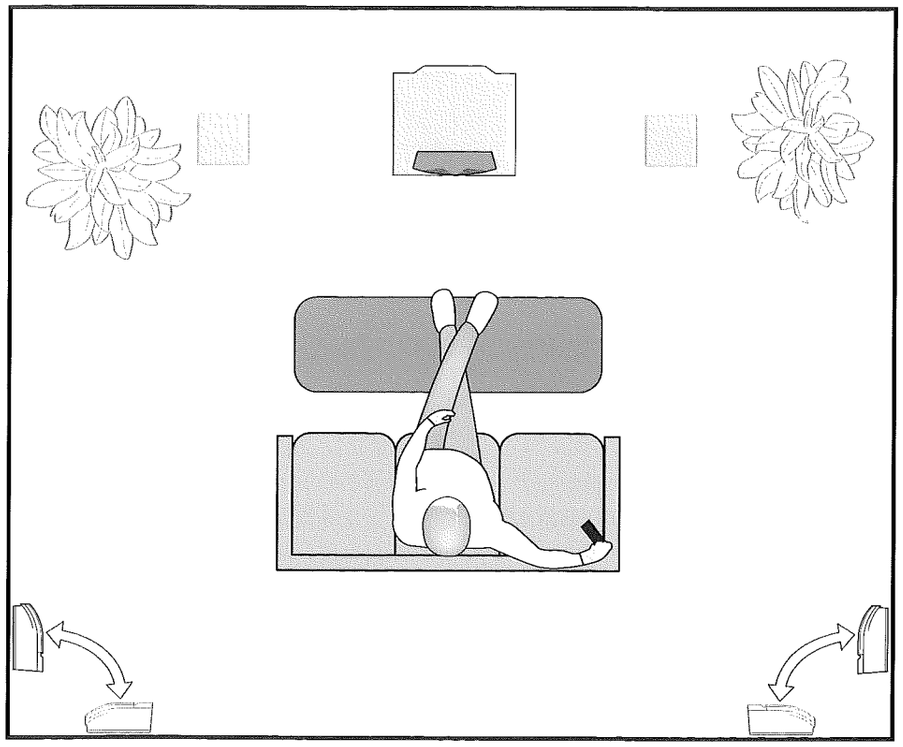
●出きるだけ遮音された静かな部屋でご使用ください。

●音質は部屋の音響特性によって変化します。室内に吸音処理することによって、周波数に対する残響時間のバラつきを抑え良好な再生音を得ることができます。

●スピーカーの正面にガラス戸や壁面などありますと、音の反射や共振が起こりやすくなります。この場合、カーテンや厚手の布などをかけて、吸音処理することをおすすめします。

●スピーカーを固い床などに直接置いてご使用されますと、音の反射や共振が起こりやすくなります。この場合、じゅうたんを敷くことによって防止することができますが、じゅうたんの厚みや質によっては、中高域が吸収されすぎることがありますのでご注意ください。

●ステレオ再生の場合、左右のスピーカーができるだけ同じ音響条件になるように設置してください。左右のバランスがそろっていないと、定位がぼやけたり焦点の定まらない音になります。

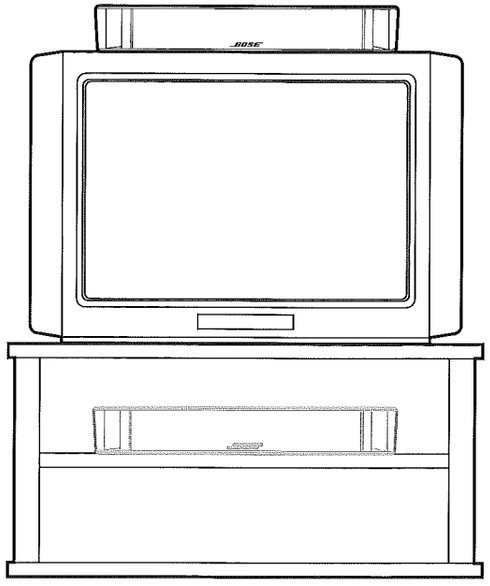


設置例

◆VCS-10の設置について◆

●VCS-10は、縦に置いたり、逆さまに設置できるようにつくられていません。また、天井や壁などにも取り付けられません。

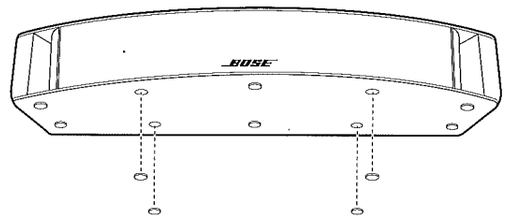
●VCS-10はその製品の性格上、音を出すと振動します。そのためVCS-10の上に物を乗せると滑り落ちる危険があります。決してVCS-10の上に物を乗せないでください。さらに、VCS-10の上部に覆いかぶさるように鉢植えなどを置くと、振動で水滴や、その他の落下物が落ちてVCS-10を破損させたり、火災の原因となる場合がありますので近くに置かないでください。



画面真中の上または下でなるべく画面に近いところに置くようにします。

●VCS-10を設置する場合は、必ず水平なところへ置いてください。また、VCS-10を台からはみ出して設置したり、VCS-10がはみ出てしまうようなところへは設置しないでください。

●VCS-10をTVの上に置く場合は、ＴＶの上面が必ずしも完全な平面ではない場合があります。必要に応じて付属のゴム足を貼り付けて安定させるようにしてください。

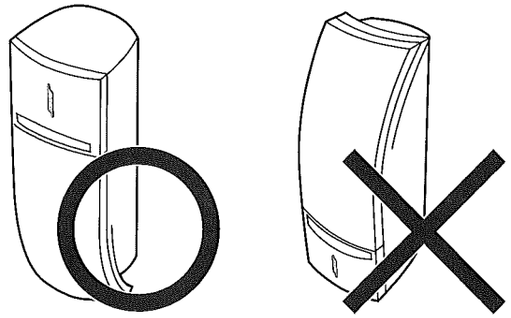


VCS-10をTVの上に置く場合は、TVの上面が必ずしも平面でない場合があります。必要に応じて付属のゴム足を貼り付けて安定させるようにしてください。

◆161Bの設置について◆

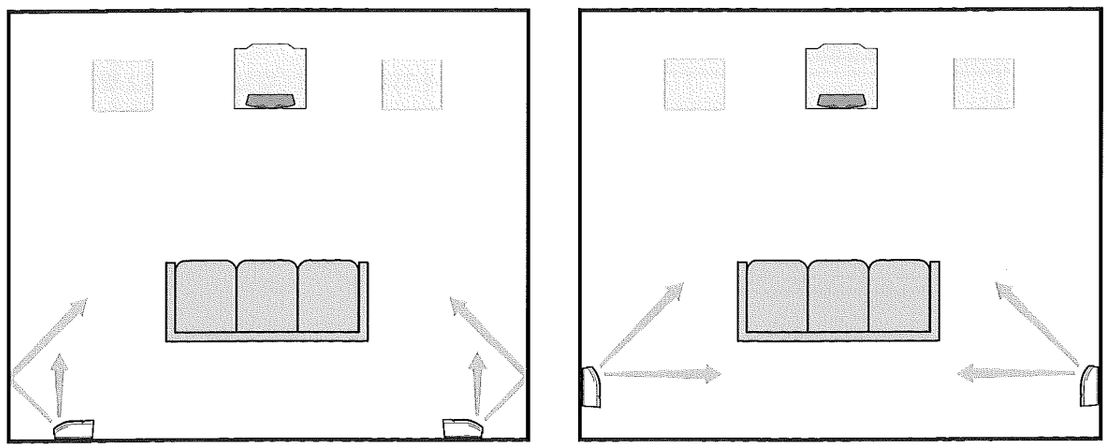
●161Bは、部屋の後側か視聴者の横から後ろに設置します。

●161Bを壁などに縦に取り付けて使う場合は、丸くなっている方を下になるように設置してください。
逆さに付けると、本来の性能を十分に発揮することができなくなります。



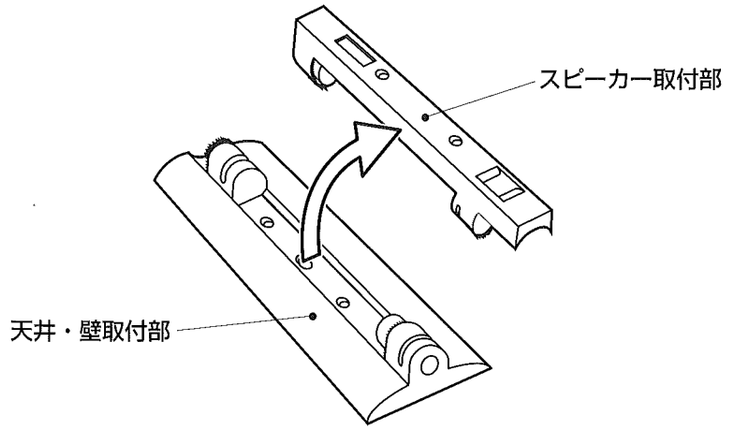
◆その他の設置例◆

設置しようとする壁面の状況（家具等があったり、出入口等があるような場合）に応じて、下のイラストのように配置することもできます。ご使用になる部屋の状況に合わせて設置してください。

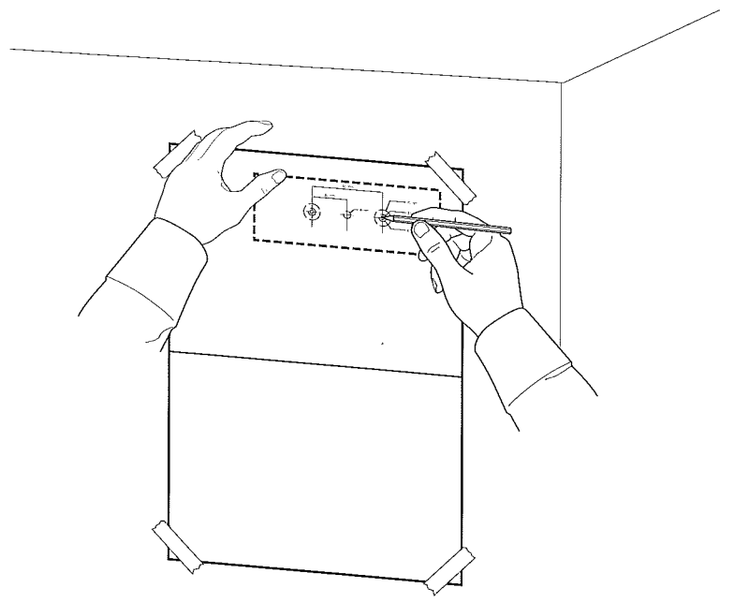


付属の天井・壁掛ブラケットの使い方

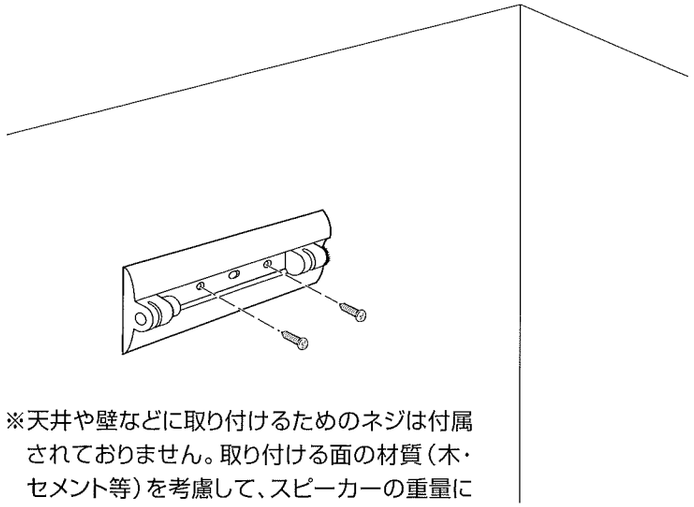
1. 図のようにスピーカー取付部を外します。



2. 天井または壁の取り付けようと思う場所に、テンプレート（15ページ）を使って印をつけます。

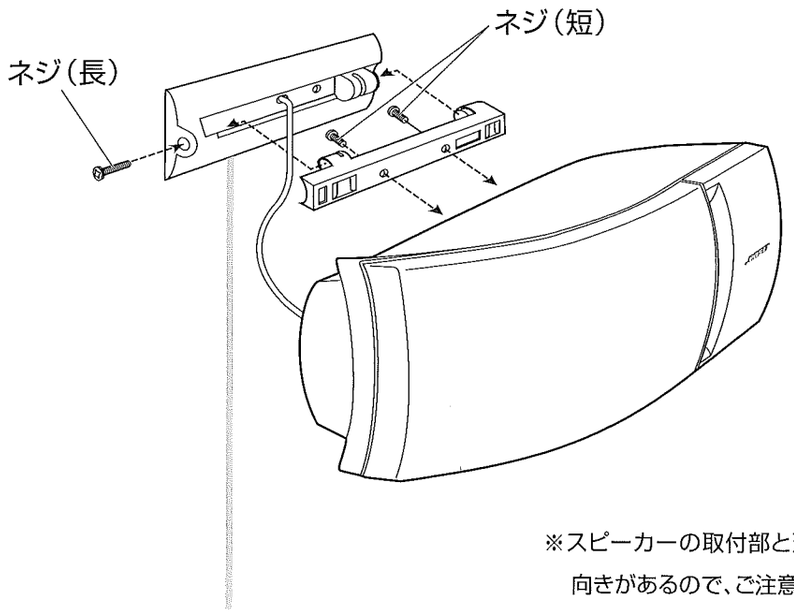


3. 天井・壁取付部を天井または壁に取り付けます。



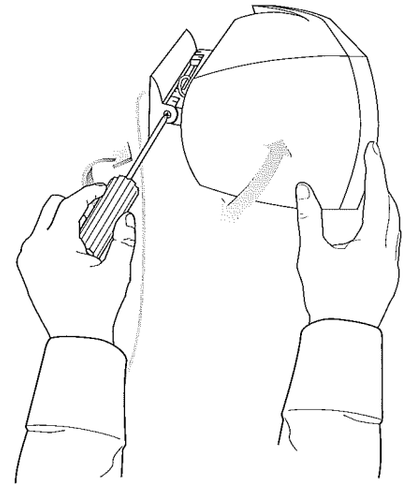
※天井や壁などに取り付けるためのネジは付属されておりません。取り付ける面の材質（木・セメント等）を考慮して、スピーカーの重量に合ったネジを別途ご用意ください。

4. スピーカー取付部を付属のネジ（短）を使ってスピーカーに取り付けます。次に天井・壁取付部にはめ込みます。付属のネジ（長）を使って軽く締めます。



※スピーカーの取付部と天井・壁取付部とは、向きがあるので、ご注意ください。

5. スピーカーの角度を調節して、さらにネジ（長）をきっちりと締めつけます。



故障の場合のお問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせは、ボーズサービスセンター事業部 ☎ 045-979-0821
製品等のお問い合わせは、ボーズ株式会社インフォメーションセンター ☎ 03-5489-0955
までご連絡ください。

仕　様

■161B

方式	ステレオエブリウェア方式
構成	フルレンジデュアルドライバー
ユニット	アクシスドライバー：60mm×1
	ファイアリングドライバー：60mm×1
低磁束漏洩	キャンセリング・マグネット方式、シールド方式併用
再生周波数特性	80Hz～20kHz
インピーダンス	6Ω
許容入力	50W（rms IEC268-5 100時間）
感度	85dBSPL
指向特性	垂直±60°
	水平＋60°～－105°（左側）
	－60°～＋105°（右側）
入力端子	スナップインターミナル
保護回路	CAP＆PTC
サイズ	278（W）×106（H）×127（D）mm
重量	1.5 kg（1本）
カラー	ブラック
付属品	取付ブラケット×2、ネジ（短）×4、ネジ（長）×2
	ゴム足×6

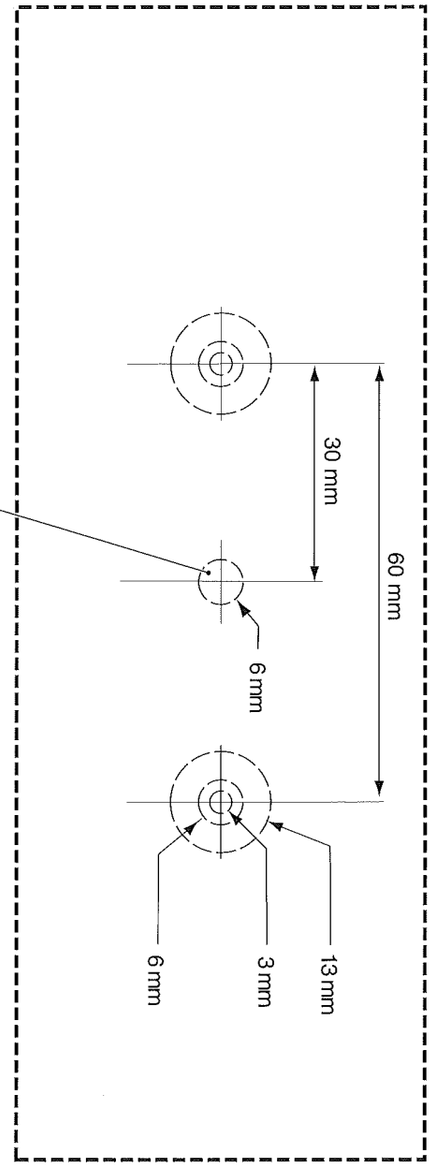
■VCS-10

方式	コンパウンド方式
ユニット構成	5.7cmドライバー×4
低磁束漏洩	キャンセリング・マグネット方式
インピーダンス	6Ω
許容入力	50W（rms IEC 268-5）、100W（peak）
サイズ	546（W）×84（H）×152（D）mm
重量	2.5 kg（1本）
カラー	ブラック
付属品	ゴム足×4

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

テンプレート



スピーカーケーブル引き出し用穴

スピーカーケーブルを壁や天井内に通してご使用になる場合にお使いください。

※天井や壁などに取り付けるためのネジは付属されておりません。取り付ける面の材質（木・セメント等）を考慮して、スピーカーの重量に合ったネジを別途ご用意ください。

BOSE®

Better sound through research®

ボーズ株式会社

http://www.bose.co.jp/

〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1211

01・11-0.6K-A・1(I-M)